

— 株主のみなさまへ —



平成
29年
4月
1日
▼
平成
30年
3月
31日

第81期 報告書

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花

あずきの皮使用



あずき混抄紙 **紅金剛**

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時にでるあずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

第81期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)を終了し、株主報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社は昨年創業120年、会社設立70周年、持株会社移行7年を無事迎えることができました。また2017年12月7日に東京証券取引所、名古屋証券取引所 市場第一部に上場を果たすことができました。

これもひとえに株主様をはじめ、多くのステークホルダーの皆さまのご支援、ご鞭撻の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、日本における経済環境は円高による企業収益の改善を背景に緩やかに回復基調が続いていますが、一方で消費増税による懸念や人手不足など先行き不透明な経営環境も軽視できません。

このような状況の中、中期3カ年計画「One Imuraya 2017」の最終年度において経営目標達成に向け「量から質へのイノベ

ション」をテーマとした経営戦略を実行してまいりました。2017年4月にBtoB事業2社を合併し誕生した井村屋フーズ株式会社はシナジー効果が生産性向上に寄与し着実な成果としてあらわれており、また井村屋株式会社では7月に竣工した点心・デリ工場において付加価値の高い肉まん・あんまん商品の提供を可能とした他、海外事業におきましても順調に成長軌道を描くことができました。

そのような取り組みの結果、売上・利益とも過去最高となり、増収増益のご報告をさせていただくことになりました。

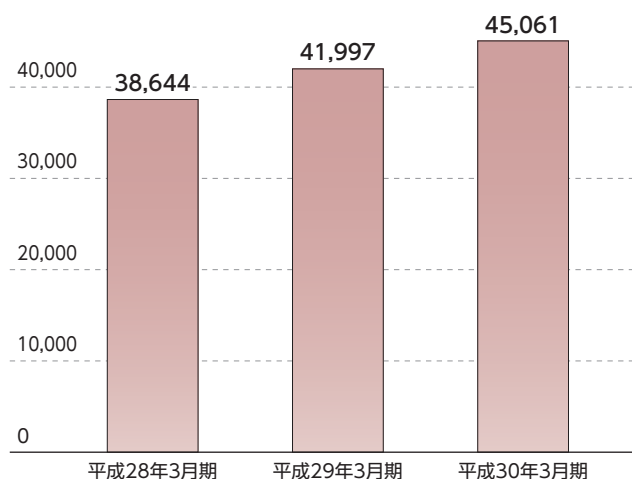
第82期は2020年度を最終年度とする新・中期計画「新・維新 Next Stage 2020」がスタートします。30年後の創業150年、会社設立100周年を見据え、サステナブルな成長を描いてまいります。

株主の皆さまにおかれましては引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

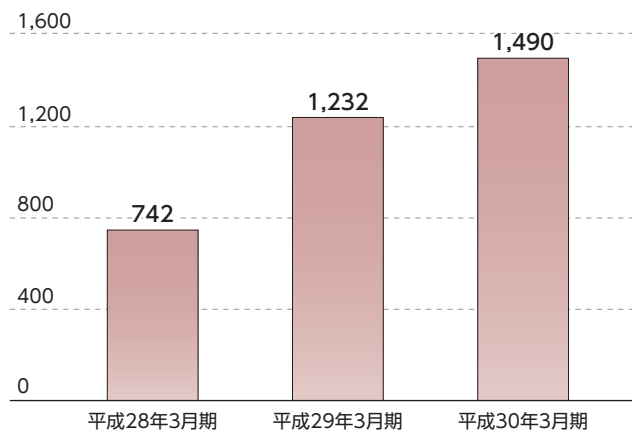
売上高

単位:百万円

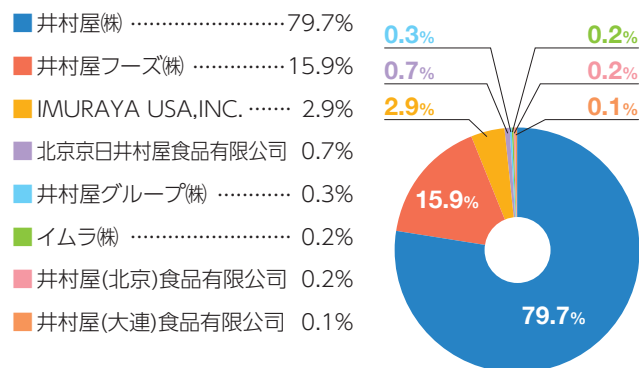


営業利益

単位:百万円

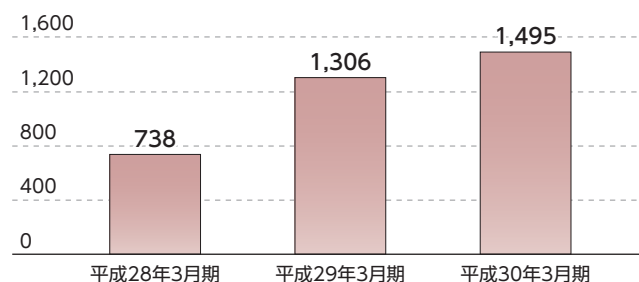


持株会社及び事業会社別の売上高



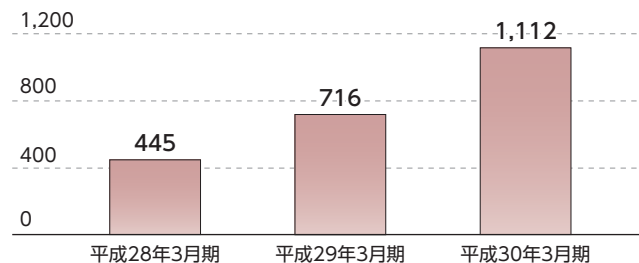
経常利益

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度末 平成29年3月31日	当連結会計年度末 平成30年3月31日
(資産の部)		
流動資産	9,958	14,907
現金及び預金	799	3,380
受取手形及び売掛金	5,146	7,216
たな卸資産	3,241	3,456
その他	772	854
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	16,195	18,440
有形固定資産	13,837	15,580
無形固定資産	124	132
投資その他の資産	2,233	2,726
繰延資産	20	12
資産合計	26,175	33,359
(負債の部)		
流動負債	12,487	15,752
固定負債	2,363	2,421
負債合計	14,850	18,173
(純資産の部)		
株主資本	9,001	12,659
その他の包括利益累計額	2,297	2,494
非支配株主持分	26	31
純資産合計	11,324	15,185
負債・純資産合計	26,175	33,359

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

増資に伴う現預金の増加や月末銀行休業日の影響による売掛金の増加、点心・デリ工場の新設などによる固定資産取得により増加いたしました。

POINT 2 負債

夏物商品の生産に連動した買掛金や短期借入金の増加などにより増加いたしました。

POINT 3 純資産

増資及び自己株式処分に伴う株主資本の増加、親会社株主に帰属する当期純利益の増加などにより増加いたしました。

連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成28年4月 1 日から 平成29年3月31日まで	当連結会計年度 平成29年4月 1 日から 平成30年3月31日まで
売上高	41,997	45,061
売上原価	28,322	30,558
売上総利益	13,675	14,502
販売費及び一般管理費	12,443	13,012
営業利益	1,232	1,490
営業外収益	139	144
営業外費用	65	139
経常利益	1,306	1,495
特別利益	54	281
特別損失	208	76
税金等調整前当期純利益	1,152	1,700
法人税等合計	436	586
当期純利益	716	1,114
非支配株主に帰属する当期純利益	0	1
親会社株主に帰属する当期純利益	716	1,112

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1

売上面では、流通事業セグメントにおいて点心・デリカテグリーを中心に全カテゴリーの売上が増加しました。損益面では、設備投資の効果や生産性向上活動によりコスト削減が図られ、利益率が向上いたしました。また、海外事業では損益の改善が図れました。その結果、売上高、各利益とも過去最高の業績となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	当連結会計年度 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,278	1,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,555	△ 3,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	205	4,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 37	△ 50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 109	2,581
現金及び現金同等物の期首残高	904	794
現金及び現金同等物の期末残高	794	3,375

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、当連結会計年度末日が金融機関の休日だったことによる売上債権の増加により減少いたしました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加いたしました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の売却、新株発行実施により、収入が増加いたしました。

連結株主資本等変動計算書(要約)

単位:百万円

平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	2,253	2,240	5,427	△ 920	9,001	235	1,969	△ 4	96	2,297	26	11,324
当 期 変 動 額												
剰 余 金 の 配 当			△ 262		△ 262							△ 262
親会社株主に帰属する当期純利益			1,112		1,112							1,112
新 株 の 発 行	322	322			645							645
自己株式の取得				△ 2	△ 2							△ 2
自己株式の処分		1,245		920	2,166							2,166
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						75	—	36	84	197	5	202
当期変動額合計	322	1,568	849	918	3,658	75	—	36	84	197	5	3,860
当 期 末 残 高	2,576	3,808	6,276	△ 2	12,659	310	1,969	32	181	2,494	31	15,185

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,015株を含む)
単元株式数	100株
株主数	7,118名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株 式 会 社 第 三 銀 行	588	4.49
株 式 会 社 百 五 銀 行	578	4.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	559	4.27
井 村 屋 取 引 先 持 株 会	516	3.94
野 村 證 券 株 式 会 社	451	3.44
中 山 芳 彦	363	2.77
株 式 会 社 り そ な 銀 行	286	2.18
株 式 会 社 西 村 商 店	239	1.82
双 日 食 料 株 式 会 社	232	1.77
株 式 会 社 三 重 銀 行	203	1.55

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

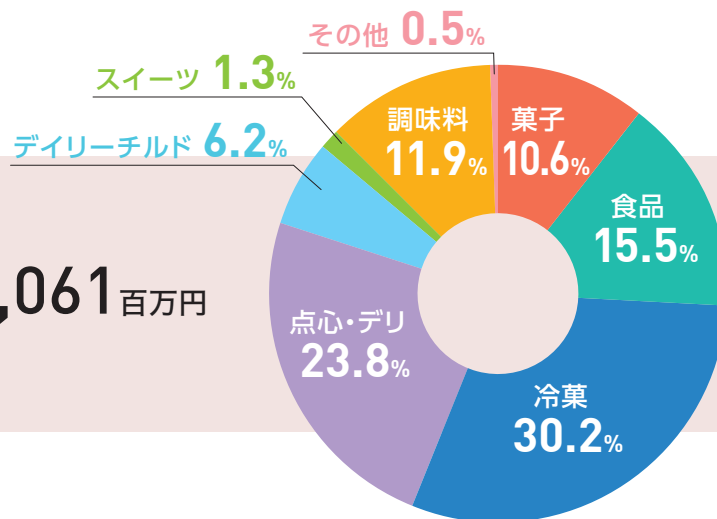
株主様へのインフォメーション

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

連結売上高 45,061 百万円



菓子 4,790 百万円 (前年比245百万円(5.4%)増)

ようかん類で新商品の「**煮小豆ようかん**」が順調に推移しました。焼き菓子では、「**和菓子屋のどら焼き**」シリーズが着実に売上を伸ばし、新商品の「**煮小豆どら焼**」が好評をいただきました。中国のカステラ事業では井村屋(北京)食品有限公司(IBF)において中国国内のOEM商品受託など新規ルート開拓が進むとともに米国向けの輸出が増加しました。



食品 6,964 百万円 (前年比402百万円(6.1%)増)

健康・機能性をテーマとした新技術商品「**煮小豆**」や「**カロリー・ハーフゆであずき(煮あずき製法)**」が順調に推移しました。また、冬物商品の「おしるこ」「ぜんざい」シリーズ、「冷凍まん」シリーズも売上が増加しました。BtoB事業の井村屋フーズ株式会社では、加工食品のOEM受託事業で売上を伸ばしました。



冷菓 13,630 百万円 (前年比301百万円(2.3%)増)

主力商品「**あずきパー**」シリーズが順調に推移し、過去最高の売上本数となりました。また、「**やわもちアイス**」シリーズは新商品の「**やわもちアイス 安納芋カップ**」、「**やわもちアイス みたらし**」が好評をいただきました。米国アイス事業のIMURAYA USA, INC.では、井村屋ブランド商品「**もちアイス**」の大手量販店への導入が計画に沿って進み、売上が伸長しました。



点心・デリ 10,718百万円（スチーマー商品）（前年比1,535百万円(16.7%)増）
「肉まん・あんまん」などの点心・デリカテゴリーではコンビニエンスストアへの付加価値の高い商品提案を行い、売上が大きく増加しました。また、新ジャンルの「**ベイクド・デリ**」シリーズも売上を伸ばしました。



デイリーチルド 2,805百万円（前年比108百万円(4.0%)増）
「豆腐」類は「**美し豆腐**」や業務用商品が堅調に推移しました。また、「チルドまん」シリーズの売上が伸びました。



スイーツ 574百万円（前年比18百万円(3.4%)増）
スイーツカテゴリーでは、「Anna Miller's (アンナミラーズ) 高輪店」が堅調に推移しました。「JOUVAUD (ジュヴォー)」では、「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) KITTE名古屋店」において特長あるメレンゲ菓子の「**生ロカイユ**」がテイクアウト商品として継続して人気を集めています。また、東京、名古屋、京都、福岡においてバレンタイン催事、ホワイトデー催事に出店し、好評をいただきました。



調味料 5,349百万円（前年比457百万円(9.3%)増）
国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、ODM (Original Design Manufacturing) 市場での新規顧客獲得やお客様ニーズに対応した商品提案に取り組み、引き続き順調に推移しました。また、継続的な生産性向上活動によりロス、ミス、ムダの削減が図られ、原価が低減しました。中国の調味料事業では、北京の北京京日井村屋食品有限公司 (JIF) において中国国内の新規販路ルート拡大により、売上が増加しました。大連の井村屋 (大連) 食品有限公司 (IDF) でもコストの低減が図られました。



その他 228百万円（前年比5百万円(2.5%)減）
イムラ株式会社がやっているリース代理業は堅調に推移しました。また、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「MOTTAINAI屋」はお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民のみならず引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店している「imuraya Sweets Shop irodori」では特色のあるスイーツ商品を中心に販売し、人気を得ています。

昔ながらの缶プリン



1968年の発売からほとんど製法を変えていない「缶プリン」の50周年を記念したギフトです。長年愛され続けてきたしっかりした食感、優しい甘さはそのままだに、レトロな雰囲気のかわいらしいデザインに変更しました。6個入りで手土産にもおすすめの一品です。

煮小豆水ようかん・煮小豆どら焼

あずきの栄養をギュッと閉じ込める井村屋独自の「煮あずき製法」を使用した「煮小豆シリーズ」に新しい仲間が加わりました。食物繊維、ポリフェノール、カリウムなどあずき本来の栄養成分を、おいしく摂取することができます。



「煮小豆水ようかん」は、あずきの濃い風味・コク、なめらかな舌触りで、春夏のおやつやデザートにおすすめです。買い置きにぴったりの3個入りです。



「煮小豆どら焼」は、あずきの濃い風味のあんを、オーガニック小麦粉を使用したふんわり、しっとり食感の生地ではさみました。小ぶりなので、小腹が空いたときや、ちょっと甘いものが欲しいときに最適です。

やわもちアイス みたらし



定番商品へと成長した井村屋の「やわもちアイス」に、期間限定で「やわもちアイス みたらし」が登場しました。昆布だしと2種類の丸大豆醤油を合わせたこだわりのみたらしソースと、もっちり団子、玄米風味のミルクアイスがくせになるおいしさです。大事な人とやわもちアイスで素敵な時間をお過ごしください。

クリームチーズアイス キウイ



大好評のクリームチーズアイスに春夏限定で「クリームチーズアイス キウイ」が加わります。kiri®のクリームチーズを乳成分中60%使用した濃厚なアイスに、甘酸っぱいキウイソースがマッチします。キウイソースには果汁・果肉を32%使用し、ジューシー＆フレッシュな味わいに仕上げています。

おにぎりの具(肉みそ味・カレー味)



手軽に具材たっぷりのおにぎりが作れる商品です。チューブタイプで使用・保管・捨てるのも楽々なので、忙しい朝のお弁当作りにおすすめの商品です。また、チャーハンや炒め物などのアレンジレシピも簡単に作れます。HPで井村屋おすすめのレシピを多数公開中です。

「おにぎりの具 肉みそ味」は、角切り豚肉、たけのこの具材感と甘辛いみそ味でごはんと相性抜群の商品です。

「おにぎりの具 カレー味」は、角切り豚肉とにんじんのしっかりとした食感、8種類の香辛料のカレー粉と和風だしを使用し、いつもと一味違ったおにぎりが作れます。

プラス10(テン)(和風玉ねぎ味・トマト味)



「プラス10」は使いきりタイプの具沢山ドレッシングです。いつものサラダにかけるだけで、10品目の豆や雑穀、野菜をプラスして、不足しがちな食物繊維をおいしく摂取することができます。サラダ以外にもHPで多彩なアレンジレシピを公開中です。「和風玉ねぎ味」と「トマト味」の2種類をご用意しました。

やさマヨドレッシング



「卵」と「油の一部」を、国産大豆使用の自社製造豆腐に置き換えたヘルシー&まろやかなマヨネーズタイプのドレッシングです。カロリー70%カット(※)、コレステロールゼロ、大豆インフラボン摂取可能なカラダにやさしい商品ですので、健康に気を遣う方や、卵アレルギーの方も安心してお召し上がりいただけます。

(※)全卵型マヨネーズに比べて:文部科学省「日本食品標準成分表2015年版(七訂)」準拠より

2コ入ベイクド・デリ(チリコンカン・グリーンカレー)



新食感!もっちり香ばしい生地「ベイクド・デリ」シリーズに新味が登場です。個包装の内袋のままレンジアップできるので、朝ごはんや軽食に最適です。

「チリコンカン」は、牛ひき肉とレッドキドニー(豆)を、トマトとチリオイルで煮込んだスパイシーな味わいをもっちり生地で包みました。

「グリーンカレー」は、香草のカフィラムの爽やかな香りとココナッツミルクの甘み、青唐辛子の刺激的な辛さが特長の本格的なグリーンカレーが、もっちり生地と相性抜群の一品です。

「大事な人とあずきバーキャンペーン」が始まりました！

毎年、たくさんのご応募をいただいております、Many Thanksキャンペーンが新しくなって今年もスタートしました。大事なお客様によりお喜びいただきたいという思いからキャンペーン名称の変更だけでなく、各コース賞品もお選びいただけるようリニューアルしました。対象商品についている「アズキキングマーク」を集めてご応募ください。

お待ちしております！



あずきバーTVCM

今年のTVCMも歌舞伎俳優の尾上松也さんが登場します。今回は「大事な人とあずきバーキャンペーン」と連動し、家族がテーマのTVCMとなっております。尾上松也さんが妹にさりげない優しさをみせる「雨上がりのあずきバー篇」を放映します。「大事な人とあずきバー ♪」というサウンドが心地よく駆け抜けます。是非ご覧ください。

【放映期間】7月1日～7月25日



SNSでの活動

現在、Twitter・FacebookなどSNS上で活動しております井村屋公式アカウントが、他企業とのコラボ企画やイベントごとに発信するユニークなツイートで注目されています。今後も、SNSを通じて更なる活動の展開をしてまいります。



東証・名証市場第一部上場

井村屋グループは2017年12月7日をもちまして東証・名証市場第一部に上場いたしました。名証市場第二部に上場してから56年を経て、新たなステージへの「大きな一歩」となりました。株主様をはじめ、ステークホルダーの皆さまの温かいご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。先人の築かれた歴史や想いを受け継ぎ、この新たなステージで更なる事業の発展を目指して挑み続けてまいります。



▲東証市場第一部指定記念品の小槌



▲東証市場第一部指定記念式典の様子

エクイティ・ファイナンスの実施

2017年12月、更なる成長に向けた資金の確保と資本増強による財務体質の一層の強化を目的とし、東証市場第二部上場以来約20年ぶりのエクイティ・ファイナンス(新株式発行及び自己株式の処分による資金調達)を実施しました。公募価格2,600円で募集し、第三者増資割当後の資本金は25億7,653万円となりました。

今回のエクイティ・ファイナンスで得た資金で、より良い商品の開発・製造を行うためのAZUKI・FACTORYなどの設備に投資を行っていきます。AZUKI・FACTORYは、あずきの選別から最終製品までを一貫して行う生産工場です。新たな価値を生み出すため、主原料であるあずきを世界に発信していきたいとの思いを込めて、あずきをあえて“AZUKI”と表記しました。今後もNEXT・NEWを意識し、あずきの加工技術を磨き、商品の更なる強化に繋げてまいります。



▲AZUKI・FACTORY

Natural Products Expo West 2018に出展

アメリカにて開催されたNatural Products Expo Westに今回「Mochi Coconut Cream Frozen Dessert」と「Non-dairy やわもちアイス」の2品を出展し、Non-dairy(乳製品不使用)とMOCHIという両品の特徴を、多くのお客様にご評価いただくことができました。また期間中の来場者数は約85,000人と本Expoを通して新たなお客様との繋がりもできました。今後も継続したフォローアップを行い新規売場の開拓を行ってまいります。



日本食糧新聞社主催 第31回 新技術・食品開発賞「煮小豆」受賞

「煮小豆」はあずきを炊く際に出る豊富な栄養成分を逃がさず、あずきに閉じ込める「煮あずき製法」を活用した商品です。今回、様々な栄養成分を効率的に摂取できる点や、煮汁の廃棄処理がなくなり、環境負荷の低減にも繋がっている点を評価いただき受賞にいたりしました。今後もあずきがもつ健康性に着目し、お客様の快適で健康的な生活に寄与する商品をお届けし「おいしい!の笑顔」を創造してまいります。



▲「煮小豆」のブース



▲贈呈式



▲新技術・食品開発賞トロフィー

井村屋グループは昨年度、創業120年、会社設立70周年、持株会社制移行7年の周年記念年次を無事迎えることができました。多くの周年事業を立ち上げ、将来に向けて若い世代が活躍する土台づくりを行いました。その周年事業の一部をご紹介します。

アズキキングの森

井村屋グループは、商品の生産において雲出川の恩恵を多大に受けてきました。そこで雲出川の水資源に対する感謝を表し、地域貢献として雲出川に流れ出る源流の一つの佐田川がある津市白山町の森を、地元の自治会の皆様と協力しながら森林保全活動や地域交流を通じて整備していきます。今後、井村屋グループ一丸となって植樹活動を行い、長く親しまれる「アズキキングの森」を育ててまいります。



TABLE FOR TWO

TABLE FOR TWO(テーブルフォーツー)とは、カロリーが控え目でバランスの良いヘルシーなランチメニューを1回食べることで、世界の飢餓に苦しむ子どもたちに1食分の学校給食を提供する仕組みです。

対象のメニューは1食につき20円が開発途上国の給食1食分として寄付されます。本社社員食堂で毎日対象メニューが1品登場し、いずれも健康・機能性重視なメニューとなっております。2017年12月にスタートし、3月末時点では合計約3,500食分の寄付を行うことができました。



▲ TABLE FOR TWO
のマーク



▲ TFTのヘルシーメニュー

周年記念式典開催

2017年11月9日に、三重県総合文化センター中ホールにて周年記念式典を開催しました。当日は周年テーマである「挑む」を基に、社内公募をした「私の決意」の発表や「基調講演」「懇親パーティー」など様々な催しが行われました。

30年後の創業150年、会社設立100周年に向け、今何をなすべきかを考え、新しいステージへのステップアップに挑戦してまいります。



▲ 枝廣氏による基調講演



▲ 講演を聞き入る社員



▲ 懇親パーティーの様子

中期3ヵ年計画「新・維新 Next Stage 2020」

維新とは「すべてのことが改まってすっかり新しくなること」であり、手本となる対象が見えない混迷の時代を迎えた今こそ、「将来のあるべき姿を自ら思い描き、その実現に向けて努力する」ことが重要です。「新・維新」の「新」を重ねる意味合いはそこにあり、自らが考え、目標を立て、強く実行する「自己の維新」が求められます。

激しく変化する厳しい経営環境の中、「自立と協働」の旗印のもと、グループ間の連携を一層強め、シナジー効果を発揮し、「強くて、しなやかで、魅力ある会社」を築きます。

3年先の目標を明確にしながら外部環境を考慮し、毎年見直して適正な目標と戦略を定め、その達成に向けて井村屋グループ一丸となって事業活動を行なってまいります。

運営方針「アスリート経営」

目標意識を持ち、その達成に向け「今、何をなすべきか」を考えて、次の課題に取り組めます。

- ① 筋肉を増強する(商品・サービスなどの魅力、企業価値を強化する)
- ② 無駄な脂肪を削る(生産性を向上させ、コストを削減する)
- ③ 体幹を鍛える(社会性を意識したバランスの良い経営を行う)

中期3ヵ年計画期間 3ヵ年(2018年度～2020年度)

数値計画

単位: 百万円

	2020年度
売 上 高	50,000
損益(経常利益)	2,000
経常利益率	4.0%
R O E	10%

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬頃にお送りいたします。以下は、平成30年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋新商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト

次の2種類からお一つ選びいただけます。

アイスクリーム詰め合わせ



マイギフト



※②でアイスクリーム詰め合わせをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

持株会社 概要(平成30年6月22日現在)

井村屋グループ株式会社

本 社 所 在 地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創 業 明治29年(1896年)
設 立 昭和22年(1947年)4月
資 本 金 2,576百万円
従 業 員 数 46名 ※グループ全体では923名(平成30年3月31日現在)
事 業 内 容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、
不動産の賃貸・管理

役員・執行役員 代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫
代表取締役副会長 中島 伸子
代表取締役社長(COO) 大西 安樹
専務取締役上席執行役員 前山 健
専務取締役上席執行役員 菅沼 重元
常務取締役上席執行役員 中道 裕久
取締役上席執行役員 岩本 康
取締役上席執行役員 富永 治郎
取締役 名倉 眞知子
取締役 西岡 慶子
上席執行役員 森井 英行
上席執行役員 鼎 正教
上席執行役員 近藤 久嗣
執行役員 岩上 真人
執行役員 行方 貞彦
常勤監査役 脇田 元夫
常勤監査役 寺家 正昭
監査役 若林 正清
監査役 橋本 陽子

(注)取締役名倉眞知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<http://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook
<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>

井村屋株式会社 公式Instagram
https://www.instagram.com/imuraya_dm/

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(平成30年6月22日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社

所 在 地 : 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容 : 菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷凍、スイーツの製造販売
代 表 者 : 浅田 剛夫、前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社

所 在 地 : 愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容 : 菓子、食品、冷凍、調味料、食品添加物の製造販売
代 表 者 : 菅沼 重元
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社

所 在 地 : 三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容 : リース代理店業務、不動産管理業務等
代 表 者 : 池田 秀治
<https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司

所 在 地 : 中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容 : 調味料の販売
代 表 者 : 前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司

所 在 地 : 中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容 : 菓子の製造販売
代 表 者 : 前山 健、中野 憲一
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.

所 在 地 : 2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容 : 冷凍の製造販売
代 表 者 : 浅田 剛夫、鼎 正教
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司

所 在 地 : 中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容 : 調味料の製造販売
代 表 者 : 前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/idf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司

所 在 地 : 中国北京市朝陽区東三環北路甲19号楼9階1003内B035室
事業内容 : 中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代 表 者 : 富永 治郎、鈴木 和久



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサ
ルデザインフォント
を採用しています。